

## 環境学委員会（第 26 期・第 7 回）議事要旨

日時：令和 7 年 4 月 16 日（水）14:00-15:30

会場 日本学術会議 6-C 会議室（3）及びオンライン（ZOOM）

出席者 森口（会議室）、大久保、大塚、馬奈木、大越、村山、小口、北川、三枝、下田、鈴木、浅見、春日、豊田、中村（以上オンライン）

### （1）前回議事要旨の確認

第 6 回議事要旨（資料 1）の確認を行った。

### （2）分科会の活動報告・活動予定（意思の表出、行事開催等）について

環境学委員会、分科会、関連する課題別委員会の第 26 期活動報告（資料 2）」を用いて各分科会の活動状況・活動予定が分科会の委員長または役員から報告された。既に複数の公開シンポジウムを開催した例も含め、公開行事の開催状況、開催予定が共有され、一部の分科会では意思の表出向けた手続きが進められていること、意思の表出以外の形態（書籍）での成果発信の検討がなされていることが報告された。

### （3）他委員会主管の共管分科会および関連する課題別委員会に関する情報共有

同じく資料 2 により、他委員会との共管の分科会、関連する課題別委員会について森口委員長から活動状況・活動予定が報告され、適宜、分科会役員から補足説明がなされた。とくに、課題別委員会「循環経済を活かし自然再興と調和する炭素中立社会への移行に関する検討委員会」について、3 月 12 日の学術フォーラムの開催結果、提言の発出に向けた検討状況について報告があり、今後の行事企画における環境学委員会との連携について言及された。また、防災減災学術研究委員会で検討中の意思の表出に関して、巨大災害時の廃棄物の発生や海洋流出による環境汚染についての関心が示され、同委員会にも参画している委員から現在の検討状況について回答があった。

### （4）その他

前日、前々日の総会における、学術会議法人化法案への対応に関する審議結果（決議および会長声明の可決）について情報共有がなされた。

人事異動、組織移管に伴う所属変更など、委員名簿の確認が依頼された。